

花王のR&D革新:「検索」から「探索」へのパラダイムシフト

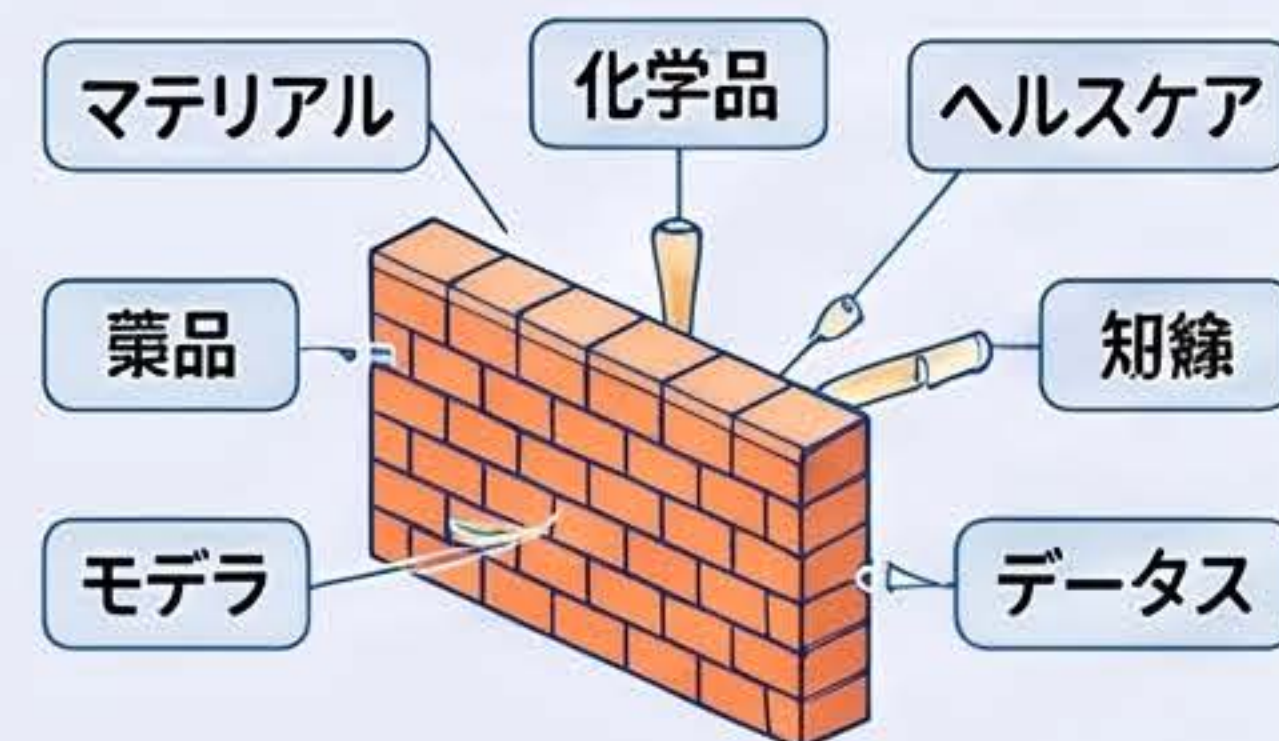
従来のキーワード検索



あいまいな問いから組織全体の隠れた知見を抽出

あいまいな問いから組織全体の隠れた知見を抽出

専門外の語彙や組織の壁を越え、全研究所から関連知見を発見。



参照元ページの明示による高信頼性の確保



回答根拠となる文書とページ番号を表示しハルシネーションを抑止。

1GBの大容量ファイル&図表・グラフの直接解読



文書を分割せず文脈を保持し、実験結果のグラフもAIが解析。

ChatSenseの対話型探索



導入成果と次世代R&Dへの展開

セレンディピティの誘発と新規研究テーマの立案

バイオテクノロジー ↔ AIデータ解析

他分野の知見との偶然の出会いから新しい研究提案が多発。



SaaS活用 (Buy) による
低コスト・迅速な全社展開
定性文書 (RAG) と
定量データ (MI) の自律統合へ

自律型AIエージェント



プロンプト不要の自律型AI
エージェントと数値解析が融合。

化学・素材業界におけるAI・RAG導入による定量的インパクトの比較

花王 (ChatSense)



最大1GB/ファイル
の無分割RAG、
全社R&Dへ展開

三井化学 (文献調査AI)



調査期間を約1ヶ月
から「約1日」へ短縮
(80%以上削減)

旭化成 (用途探索AI)



6,000以上の用途候補
創出、選別時間を
約40%短縮